

看護専門実践研修(褥瘡ケア・感染管理コース) 2018年度研修スケジュール

コース	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
時間	10:00～11:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	9:00～10:30	個人作業	個人作業	後日連絡
褥瘡ケア	テーマ 講義(6月22日) 皮膚の構造と機能とスキンケアの原則	講義(7月20日) 褥瘡の基本①	講義(8月17日) 褥瘡の基本②	講義(9月14日) 褥瘡の予防①	講義(10月26日) 褥瘡の予防②	講義(11月16日) 褥瘡治療の実際 *実務研修(研修者が3名以上の場合、11月および12月に実習日を分ける)	講義(12月21日) 褥瘡以外の創傷管理 1) スキンテア 2) MDRPU 3) 下腿潰瘍 4) IAD *実務研修(2名の場合)	事後の課題抽出 実践計画書提出期日 1月15日(月) 成果発表会に向けて、次年度の実践計画書を作成する。	受講者は、実践計画書を各施設の上長へ提出する。 各所属長は、実践計画書内容の確認を行い、コメントをする。	修講式(日程・時間未定)
	ねらい 1) 皮膚の解剖生理を理解できる 2) 皮膚に影響を与える因子について理解できる 3) 皮膚の状態に応じたアセスメント方法とケアについて理解できる	1) 創傷治癒過程とメカニズムについて理解する 2) 創傷治癒を遅延させる局所的要因・全身的要因について理解する	1) 創傷の種類と病態についての知識を習得する 2) 褥瘡の発生機序を理解できる 3) DESIGN-Rを用いて、褥瘡の評価・アセスメントを実施できる	1) 体圧分散寝具の選択方法を理解できる 2) 外力・ずれのメカニズムを理解できる	1) 栄養状態をアセスメントするために必要となる評価方法について理解できる 2) 褥瘡ケア領域に関連する栄養管理を行うために必要となる管理方法及び栄養剤の種類と特徴を理解できる	1) 創傷の状態に応じた、創傷被覆材、薬剤の選択方法、その他の治療方法について理解できる 2) 褥瘡とそれ以外の創傷について判断できる 2) 適切なケアや処置について理解できる				
感染管理	テーマ 講義(6月22日) 感染防止技術① 標準予防策 感染経路別予防策	講義(7月27日) 感染防止技術② 侵襲的処置別感染予防策(血管カテーテル/尿道留置カテーテル感染対策)	講義(8月24日) 職業感染防止	講義(9月21日) 洗浄・消毒・滅菌 感染性廃棄物	講義(10月19日) 医療関連感染サーベイランス	講義(11月2日) アウトブレイク対応 *実務研修(研修者が3名以上の場合、11月および12月に実習日を分ける)	講義(12月7日) 感染管理体制 *実務研修(2名の場合)	研修で得た学びや目標達成状況を振り返るとともに、次年度の各領域の実践計画を立案する。 *研修指導者は、1月下旬までに実践計画書内容の確認をし、受講者へ返信する。	受講者は、実践計画書(コメント入り)を再度、研修指導者へ提出する。(完成は2月下旬)	修講式(日程・時間未定)
	ねらい 1) ガイドライン等で推奨されている感染予防策の内容及び科学的根拠を学ぶ。 2) 科学的根拠に基づき実施することが推奨される感染予防策のアドヒアランス向上の取り組みを理解し、計画/実践する能力を獲得する。 3) 特有の感染リスクを有する部門において、感染管理認定看護師と連携を図り、対策を計画・実践する能力を獲得する。	1) 職業感染管理の目的を理解し施設・部門内に対して実践できる。 2) 結核接触者への対応や感染源調査の方法を理解し、実践できる。	1) 洗浄・消毒・滅菌の原則について理解し、適切に行われるために感染管理認定看護師が行う活動内容について理解できる。 2) 患者及び医療従事者の安全な療養環境と就業環境確保のための施設や環境に関する管理を学ぶ。	1) 医療関連感染サーベイランスの概念について理解し、データの分析及び活用方法について理解できる。 2) 代表的な医療関連感染サーベイランスの種類と具体的手法について理解できる。	1) アウトブレイク対応の具体的な手法(疫学的調査方法)を用いて発生(認知)時、即時対応し、適切な情報収集を行うと共に終息に向けた対策の検討と実践ができる。 2) 自施設における医療関連感染予防・管理システムについて取得した知識を用いて現状を分析できる。 3) アセスメントを行い、具体的課題と対策を明文化し改善策を検討できる。					